

# 浄化槽の利点を活かした魅力ある社会の実現に向けた課題

## 単独処理浄化槽の転換

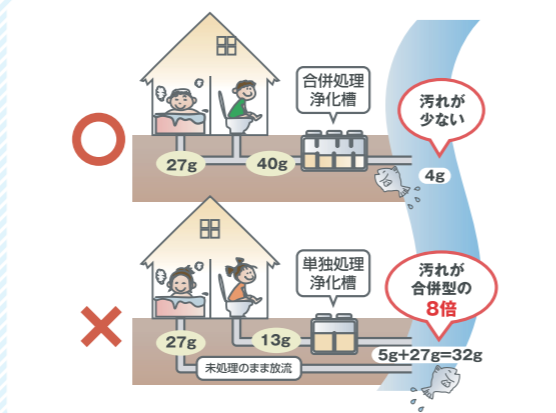
単独処理浄化槽は、し尿のみを処理する設備で、台所・風呂等の生活雑排水を処理できません。合併処理浄化槽に対して汚濁負荷は8倍の単独処理浄化槽は約412万基、公共所有だけでも約4.6万基残存しています。単独処理浄化槽は設置年数が経過しており、老朽化による破損のリスクが高まるだけでなく、電力の消費効率も低いといった問題もあります。水質改善・防災対策・低炭素化の観点から、老朽化した単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ転換することが求められています。

### 台所・風呂等の生活雑排水を処理せず流すと…



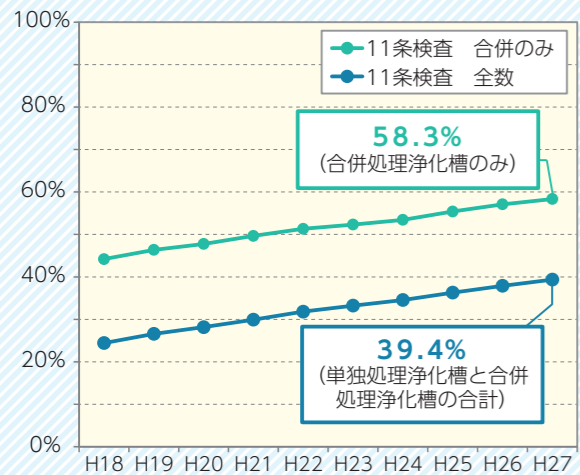
ヘドロ状の生物膜ができる

側溝等が汚れる



## 浄化槽の維持管理に向けた管理体制構築

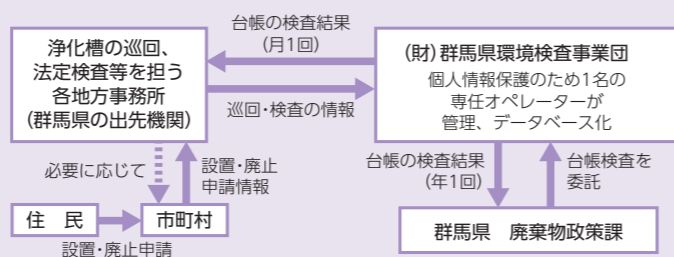
- 浄化槽が水をきれいにするためには、定期的な保守点検や浄化槽の内部の清掃、処理性能を検査する法定検査、といった維持管理を続けることが欠かせません。
- 法定検査は、設置時の検査（7条検査）と年1回の定期検査（11条検査）があり、11条検査の受検率のさらなる向上が課題になっています。
- また、浄化槽の維持管理状況を把握するためには、その管理簿となる「浄化槽管理台帳」が不可欠です。
- 「浄化槽管理台帳」はデータベースや位置情報システムを用いて作成されたものもありますが、表計算ソフトなどでの簡易的な管理が主流で、その管理方法・体制の強化が課題になっています。台帳の構築や台帳データの更新に向けて、環境省、自治体が行き組みを進めています。



11条検査受検率の推移  
出所) 環境省、浄化槽指導普及調査等

### 事例 指定検査機関と連携した浄化槽台帳の整備

- 群馬県は浄化槽の設置・廃止情報の台帳登録を公益財団法人群馬県環境検査事業団に委託。
- 巡回や法定検査中に確認した新たな建築物の情報や浄化槽の廃止情報は台帳と照合して反映する管理体制を構築した。



環境省の浄化槽サイトでは、川や海、自然にやさしい浄化槽の情報を集めて公表しています。浄化槽の仕組みやニュース、様々な取り組み事例等をお知りになりたい方はぜひご覧ください。

環境省「浄化槽サイト」 <https://www.env.go.jp/recycle/jokaso/>



安全・安心

自然共生

# 浄化槽の利点を活かした地域づくり

低炭素

資源循環

この冊子は、浄化槽整備の必要性や優れた機能（耐震性、環境性、経済性）について理解を深めていただくために、全国の事例を交えながら、浄化槽の利点を活かした地域づくりについて解説をするものです。

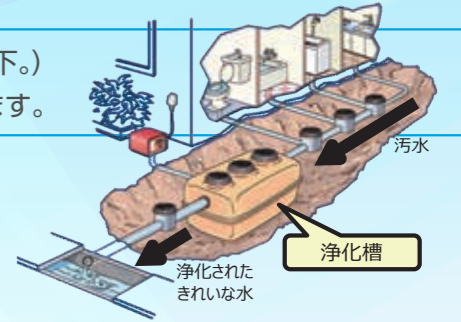
浄化槽と関係を持つ住民の方をはじめ、浄化槽整備区域を有する市町村・都道府県の浄化槽関連事業者の方、議会関係者や職員の方など、幅広い方を対象として作成しています。

# 浄化槽は地方部での生活排水対策の中核を担い、安全・低炭素・資源循環・自然共生社会の実現に貢献!



## 浄化槽 (合併処理浄化槽)

浄化槽は、住宅などの建物毎に設置される個別分散型の汚水処理施設です。下水道と同等の汚水処理性能を有しています。(放流水質はBOD20mg/L以下。) 地方部において経済的かつ早期に整備可能であり、今後の人口減少社会に適した生活排水処理施設です。平成29年3月時点で全国で1,170万人が使用しています。

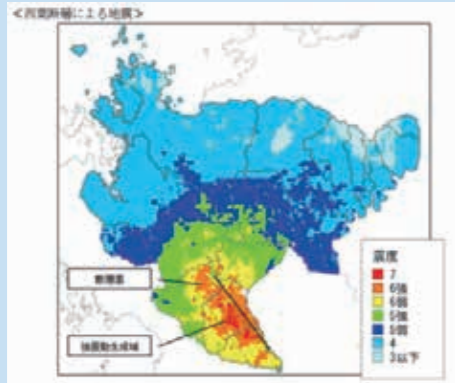


### 公共管理で水害に備える

三重県紀宝町は平成21年の台風によって町内1,000戸以上の世帯が床上浸水し、浄化槽も広範囲で浸水する被害に遭ったが、町営で管理をしていたため、迅速な復旧対応が可能であり、住民の間で町営浄化槽に対する信頼感が強まった。

### 浄化槽整備で災害に備える

- ・佐賀県嬉野市は想定震度6程度の地震を想定。
- ・このリスク回避に向け、分散しており被害が集中しない・復旧までの時間が短い、といった特長に着目し、浄化槽を整備。



出所) 佐賀県地域防災計画

- 分散処理のため災害に強く、災害対応力が高い
- 防災拠点、公共施設で汚水処理に貢献

安全・安心

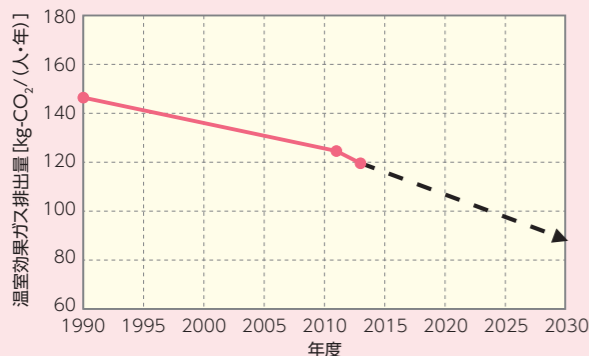


低炭素

- 既設浄化槽の入れ替えにより大幅な低炭素化が可能
- 最新の省エネ技術を使って低炭素化を実現、電力消費量を抑制

### 事例 低炭素型浄化槽

- ・1990年以降、浄化槽の性能は年々向上。
- ・現在販売されている省エネ型浄化槽は、90年頃の設備に比べ30%以上低炭素化が図られている。



出所) 環境省、平成28年度次世代浄化槽システムに関する調査検討業務報告書

### 熊本県芦北市

平成7年より浄化槽市町村整備事業を開始。水質が改善し、ホテルの飛ぶ美しい水辺環境を保全。



- きれいな水辺の創出
- 蛍の回帰など、自然とのふれあいの場の提供

自然共生



資源循環

- 集合処理との役割分担で経済合理的に生活排水を処理
- 地域循環産業の発展に貢献し、各地元で地方創生を実現可能

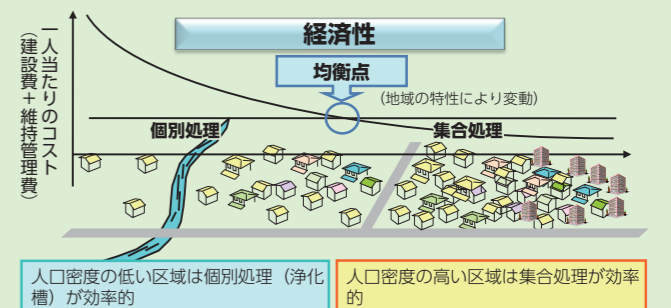
### 島根県津和野市

平成4年より浄化槽整備を開始。水質が改善傾向にあり、観光客にも親しまれる水辺を創出。



### 浄化槽と集合処理の役割分担

経済合理性の観点からは、人口密度の低い地域ほど、浄化槽による汚水処理が最も合理的である。



### 「奇跡の村」長野県下條村の選択

- ・生活排水処理の総費用に占める設備費の比率が低く、借金を多くせず設置できる浄化槽の整備を促進した。
- ・こうした取り組みもあり、下條村の借金返済の重さを示す実質公債費比率はマイナス6.6%と全国の市町村の中で第1位となっている。

実質公債費比率 (%) (2016年度)	順位	自治体	比率
-6.6%	第1位	長野県下條村	-6.6%
-6.4%	第2位	東京都杉並区	-6.4%
-6.2%	第3位	東京都江戸川区	-6.2%
-4.4%	第4位	東京都江東区	-4.4%
-4.2%	第5位	高知県津野町	-4.2%

健全で魅力ある社会を創出し、暮らしの質向上に寄与